

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第94期中間期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、電子部品や樹脂部品の調達難や原材料価格の高騰、物流混乱の常態化、ウクライナ情勢の長期化、急激な物価上昇による需要減少など極めて厳しい状況のなか、お客様への確実な製品供給に努めるとともに、当期が最終年度となる中期事業計画「R1」で掲げた目標の達成に向けて、技術VEIによるコスト削減、徹底的な経費削減など原材料価格高騰に対するレジリエンスの強化と販売価格の見直し、新規深耕開拓に取り組むなど、現行ビジネスの安定化と利益ある成長に向けた取り組みを推し進めました。また、ニッケル水素電池は大型蓄電池向けニッケル水素電池用極板の出荷、アルカリ乾電池はウルトラマンおよびウルトラセブンをデザインした乾電池の発売やミニ四駆ジャパンカップへの継続協賛など商品開発・販売促進に努めました。

中間期の経営成績につきましては、売上高は、アルカリ乾電池で2020年度に実施した海外製造子会社株式譲渡に伴う海外向け売上減と設備関連ビジネスの減少がございましたが、リチウム電池とニッケル水素電池の販売価格見直しや円安効果による増加と電子事業の各種モジュール、スイッチング電源の増加により、前年同期に比べ11億64百万円増の317億34百万円となりました。営業利益は各種モジュールの売上げ増、経費削減や円安効果による利益増加がございましたが、原材料価格高騰の影響が大きく、前年同期に比べ7億22百万円減の6億70百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ4億62百万円減の8億39百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は補助金収入2億円を特別利益として計上したものの、前年同期に4億59百万円の関係会社清算益を特別利益として計上したことや法人税等調整額の増加により前年同期に比べ8億58百万円減の5億83百万円となりました。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと思います。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く経営環境はさらに厳しい状況で推移すると想定され、円安効果につきましても海外向けの売上を押し上げる一方で、原材料価格および光熱費高騰への影響も大きく、収益好転影響が限定的で厳しい経営環境となる見通しです。このような経営環境におきましても残り少ない期間での中期事業計画「R1」の達成に向け、電池事業では外的リスクの最小化に向けた原価低減の推進、売上と利益の拡大、材料確保等の徹底を行なうことで強固な事業基盤を確立してまいります。また、電子事業では保有技術に磨きをかけ、差別化を図ることで製品競争力を向上させ、事業価値向上を図ってまいります。新事業として位置付けているSMD対応小型全固体電池につきましては、顧客仕様に合わせた開発の促進と品質改善をさらに加速させ、ニッケル亜鉛電池や水素/空気二次電池につきましても、実用化に向けた開発の推進とビジネスプランの策定を推し進めてまいります。

「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーの方に満足いただく「And Game」の実現のため、従業員各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成を加速させ、企業価値の向上に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

長野 良

Profile プロフィール

1961年 9月 7日生まれ
1985年 4月 富士通(株)入社
2019年 4月 当社執行役員常務
2019年 6月 当社代表取締役社長

2022年12月

連結決算ハイライト

売上高



営業利益



経常利益又は経常損失(△)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

